

歯科衛生士ニュース

全日本民主医療機関連合会 歯科部 発行日： 2026 年 7 月 27 日 発行人：榊原啓太

関東地協
参加者

全国のみなさん！こんにちは！

5/30（土）～31（日）北海道で行われた歯科衛生士全国交流集会が大盛況で幕をとじました。関東地協からは、11名が参加しました。全国の仲間たちと語り合えたことが励みや刺激になり、明日からの活力につながりました。



「全国集会を終えて」 ～今後の課題と展望～

集会を終えて ” 到達 ” と ” 課題 ” も見えてきました。

「民医連歯科衛生士の基本となるもの」を読み込むことで、一人ひとりが内容を深く理解する必要があるということです。同時に、少しずつでもいいので現場でアセスメントを行うこと、学生への教材や地域活動など様々な場面で活用していただくことです。それが「私たち民医連歯科衛生士のアイデンティティを発信」していくことにつながることに確信をもてました。

今後の課題は、3つの柱で取り組むことです。①「SDHの実践」、②「地域包括ケアと他職種協働の実践」、③「確保と育成」です。小さな気づきや違和感を大切に”気づき”を語り合うことを職場で定着させましょう。色々な職種や職場にとどまらず、地域を含めたあらゆるフィールドで歯科衛生士の専門性を発揮してきましょう。そして、職員育成指針 2021 と基本となるものを活用して、民医連歯科衛生士の誇りを語り、学生と共に学び合う場をつくり、仲間を増やす取り組みに全力を尽くしましょう。



第47期理事会において、小玉奈緒美さんが歯科衛生士として初めて理事に選出されました。これは、私たち歯科衛生士の専門性と現場の力が、組織全体の経営や方針を左右する立場として認められた証です。総会方針を職場の仲間とともに読み込み、個々が尊重される職場を目指して、歯科衛生士の地位向上と確かな担い手の育成に力をそそいでいきましょう！



研修会

関東地協では、3月8日（日）に「リスクマネジメント～カスハラ・セクハラ・暴言暴力への対応～」と題して、健和会の副統括看護部長小菅紀子さんを講師に招き、数年ぶりに実参加での研修会を開催しました。参加者は58名と大勢の人が参加しました。

患者の「思い」や「要求」にどこまで応えるべきなのか？患者の人権を尊重しながらも、自分や職員の業務や健康も守らなければならないことにジレンマを感じました。しかし、昨今の状況を踏まえると、カスハラとは何かを理解し、遭遇した時の対処法は身に付けておくべきだと思います。事業所での基準作りやハラスメントを未然に防ぐための対処法など、“ケアの倫理”と共に考えなければならない学びの多い研修会となりました。

